

医動物・種類同定検査結果（令和3年10月～令和4年3月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

令和3年10月から令和4年3月の6か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類1件(コウチュウ目1件)、その他の節足動物2件(クモ目2件)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等 (相談月)	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
<p>寝室の床の上とベランダの^{さん}棧にコウチュウがみられる。 (2月)</p>	 <p>成虫、褐色、3mm</p>	<p>ヒメヒョウホンムシ (コウチュウ目)</p>	<p>ヒョウホンムシ科は、乾燥動植物質を食べ、一般家屋や食糧貯蔵庫、製粉工場などで見つかる。世界共通種である。</p>
<p>施設内の商品棚裏でクモを発見した。 (10月)</p> <p>上記施設周辺のカードレールでクモを発見した。 (10月)</p>	 <p>雌成虫、褐色で腹面に赤い斑紋 背面に斑紋がある、 約8mm</p>	<p>ハイイロゴケグモ (クモ目)</p>	<p>基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。咬まれても、多くの場合は軽症で、針で刺されたような痛みや、咬まれた箇所が赤くなったり、熱を感じたりする。ただし稀に^{まれ}重症化することがある。全世界の熱帯、亜熱帯、温帯の一部に分布する。</p>

横浜市内で確認されたゴケグモ属については、以下のHPに掲載されています。

(※)【参考】ゴケグモに注意

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/seikatsu/kokyo/gaichu/seakagokegumo.html>

(横浜市健康福祉局ウェブページ)

【 微生物検査研究課 医動物担当 】